

こしがやSDGs パートナイベント～企業でできる脱炭素～

報告書

実施日：令和8年7月7日（火）

内容

開催日時：令和8年7月7日（火）18時～20時
場所：越谷市役所エントランス棟3階 会議室

参加者一覧

以下の企業等6組7名、
一般の参加者2名の計9名の参加となりました。

- 13. 株式会社鈴木組
- 89. 株式会社エフ広芸
- 95. 東京電力パワーグリッド（株）川口支社
- 187. 花王グループカスタマーマーケティング株式会社
ビジネス開発部門関越地区
- 217. 東京ガス株式会社 埼玉支社

プログラム

1. 越谷市の取組について
2. 基調講演
①「脱炭素への第一歩
～今後必須となるLED化について企業として備えること～」
講師：パナソニックエレクトリックワークス株式会社
マーケティング本部 高所 宏和氏
高瀬 依里子氏
3. 質疑応答



こしがやSDGsパートナーイベント～企業でできる脱炭素～

報告書

実施日：令和8年7月7日（火）

1. 越谷市の取組

越谷市で取り組んでいる脱炭素に関する取組、こしがやSDGsパートナーに関する取組についてご紹介しました。

【主な内容】

- ・越谷市環境管理計画
- ・「ゼロカーボンシティ」共同宣言～2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～
- ・こしがや脱炭素コンソーシアム
- ・越谷市ゼロカーボン推進補助金
- ・越谷市省エネ家電買換促進補助金
- ・こしがや・おがの交流の森の森林整備
- ・こしがやSDGsパートナー

小・中学校で実施している環境学習の際にこしがやSDGsパートナーのみなさんの取り組みについて紹介しています。▼

越谷市の取組

● 小鹿野町との森林整備の実施に関する協定

- ✓ 森林の保全及び地球温暖化対策の推進を図ることが主な目的
- ✓ 埼玉県小鹿野町と連携して以下の事業を実施
 - ① 「こしがや・おがの交流の森」の森林整備
 - ② 森林を活用した自然体験を伴う交流事業
- ✓ 協定期間：令和5年5月1日から令和10年3月31日

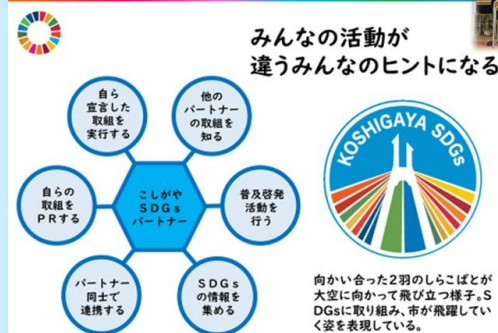


越谷市の取組

こしがやSDGsパートナーの紹介



SDGsってなんだろう？



こしがやSDGsパートナーイベント～企業でできる脱炭素～

報告書

実施日：令和8年7月7日（火）

2. 基調講演

「脱炭素への第一歩

～今後必須となるLED化について企業として備えること～

講師：パナソニックエレクトリックワークス株式会社 マーケティング本部
高所 宏和氏 高瀬 依里子氏

持続可能な社会移行に向けて、課題を解決しながら地域の成長につなげる「ESG経営」というキーワードを踏まえ、主に以下の内容についてご講演いただきました。

- ✓ 気候変動（＝脱炭素化）や水資源、生物多様性が深く関わる「Environment（環境の問題）」のE、人材投資や働きやすい環境整備、ダイバーシティやサプライチェーンに関わる「Social（社会の問題）」のS、取締役会の構成や少数株主保護などに関わる「Governance（企業統治の問題）」のG、これらの観点からの取組が取引先や顧客、地域からの評価に結びついて、人材・企業・投資から“選ばれるまち・企業”となる
- ✓ 温室効果ガス排出量を削減するためには、今後「脱炭素経営」が更に重要視される
- ✓ パリ協定が求める水準と整合した5～15年先を目標年として、企業が設定する温室効果ガス排出量削減目標の「SBT (Science Based Targets)」。SBTに取り組むメリットは「脱炭素を本気でやっている会社だと信頼され、ビジネスに直結すること」である
- ✓ 建物の節電や省エネは、企業として取り組みやすく、脱炭素にもつながる
- ✓ 照明により職場環境が改善されることで、職員の「Well-Being」につながることも期待できる

また、講演後に行った質疑応答では、「脱炭素の推進による地球温暖化への抑制効果」、「費用対効果を踏まえた脱炭素に取り組むメリット」、「水素の活用の可能性」など、参加者それぞれの視点から意見交換が行われていました。

